

2025 年 12 月 7 日午前 10 時 30 分
待降節 (アドヴェント) 第 2 主日 主日礼拝
司会 植松みよ
奏楽 川名ひさ子

讃美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、
お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

アドヴェントクランツ点灯 242 (2)
前 奏
招きのことば イザヤ 60:1-3
讃美歌 240(1-4)「主イエスお近い」 一 同
詩編交読 19:8-11 (P.25/21) 一 同

祈 り 司会者
《関東教区お祈りカレンダー》
シャロンの教会 草加教会 東京聖書学校吉川教会
(主の祈り)

讃美歌 248「エッサイの根より」 一 同

聖 書 旧約 エレミヤ 36:1-8(P.1245)
新約 II テモテ 4:1-5(P.394)

メッセージ『真実を語り続ける』 川上 盾 牧師
祈 り

讃美歌 469「よき力にわれ囲まれ」 一 同

献 金 一 同
(献金感謝の祈り)

信仰告白(家族礼拝のための信仰告白) 一 同

頌 栄 240(5)
派遣・祝福 川上 盾 牧師
後 奏

報告・紹介

<招きのことば> イザヤ書 60:1-3
起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り、
主の栄光はあなたの上に輝く。見よ、闇は地
を覆い、暗黒が国々を包んでいる。しかし、
あなたの上には主が輝き出で、主の栄光が
あなたの上に現れる。国々はあなたを照ら
す光に向かい、王たちは射出でその輝
きに向かって歩む。

《12 月礼拝当番》 畠中祥世 伊藤普史
五十嵐敏子 手塚福治
木暮富美子 岩渕デボラ

《今週の集会・行事》

- ◎ 本日 9:00 CS朝礼拝
- ◎ 本日礼拝後 会堂イス配置換え 聖歌隊練習
うどん食堂 12 月定例役員会
- ◎ 10 日(水) 前橋こども園教会訪問
- ◎ 11 日(木) 10:30 婦人会クリスマス
- ◎ 12 日(金) 19:30 洗礼準備会(ZOOM)
- ◎ 13 日(土) 9:30 会堂清掃 E 組
CSクリスマス準備

《次週の主日》

◎ 主日礼拝 10:30 CS合同礼拝(ページェント)
メッセージ『飼い葉桶の赤ちゃん』
聖書:新約 ルカ 2:8-14(P.103)
讃美歌 242(3 献), こ 72, こ 68, こ 26
交読詩編 72(こどもさんびか P.205 ⑩)
司会:楠元 桃 奏楽:徳江由利
◎ CS クリスマス祝会

《予 告》

- ◎ 信仰告白会 12/17(水) 19:30
- ◎ クリスマス礼拝&愛餐会 12/21(日)10:30
- ◎ キャンドルサービス 12/24(水) 19:00

《報 告》

◎ アドベント第2週です



2 本目のキャンドルに火が灯ります。今
年もクリスマス飾り付けがなされ、モミ・
ヒバの香りが会堂に満ちています。次週は
C S 合同礼拝。子どもたちのページェント
(聖誕劇)が行われます。本日礼拝後、会堂
のイス配置換えをいたしますので、お時間
のある方はお手伝い下さい。次週礼拝後は
子どもたちのクリスマス祝会です。クリス
マス案内チラシを用意しましたのでご利用
下さい。また今年もクリスマス献金にご協
力をお願いします(12/26 まで)。

◎ 12/17 信仰告白会

今年は 2 名の方(長谷川瞳さん・成田雫
さん)が受洗に向けて準備中です。お二人
の洗礼を決意するに至った思いを聞き、み
んなで祈りを合わせる夜です。どうぞ予
定下さい。



《先週の集会》

	ジュニア	シニア	幼・大人	計
C S 朝礼拝	3	5	11	19
	礼拝堂	オンライン		献 金
主 日 礼 拝	56	19		31,280
クリスマス飾り付け	10	パイプオルガンコンサート		54

《メッセージ》『真実を聞き続ける』川上牧師

イザヤ 51:4-8, マルコ 13:21-24(11 月 30 日)
▼バビロン捕囚の時代に活動した二代目預言者イザヤ
は、捕囚の苦しみから解放してくれるメシア=救い主の
到来を預言した。彼は当初、バビロニアを倒し捕囚の民
を解放したペルシャの王・キュロスこそメシア!と期待し
た。▼しかしそのキュロスも他の権力者と大差ないことを
悟り、晩年にとても不思議なメシア預言を残す。それが
53 章「苦難の僕のうた」である。そこに描かれるのは力を
頼らず、むしろ自らが傷つくことによって人々を癒す姿で
あった。▼51 章でイザヤは「人に嘲られることを恐れるな。
罵られてもおののくな」と語る。彼は自分の語る預言をイス
ラエルの民が心よく思わず、バッシングをもって応じる
ことを予知していたのだろう。それでも厳しい状況ではあ
っても、真実を聞き続けよ!と語るのである。▼マルコ 13
章はイエスが終末の出来事について教えられた、いわ
ゆる「小黙示録」と呼ばれる箇所である。終末にほろろ
な出来事が起こる(天変地異、大混乱、迫害や逮捕拘
束)。恐ろしい「しるし」が続く中で「にせメシアに気をつけ
よ」と警告の言葉が語られる。▼私たちの生きる現代も
「にせメシア」が跋扈する時代と言えるかも知れない。フ
ェイクニュースがあつとら間に共有され、人々の価値観
をミスリードする。その情報が正しいのか間違ってるの
か...そんなことはもう「どうでもよい」。そこで語られる言説
を聞いて「スカッ」と一瞬の快楽を受ければよしとされる
時代。地道にまじめに真実を求める人を見ると、「なんか
めんどくさいことやってるなあ...」と揶揄する言葉がウケる
時代。「だからあなたがたは気をつけていなさい」というイ
エスの警告は、現代に生きる私たちにも十分妥当する。
▼どうすれば「にせメシア」に惑わされず真実を聞き続け
ることができるのか。私たちにはそれを見分ける道しるべ
が与えられている。それは言うまでもなくイエス・キリスト、
その人である。聖書に記されたイエスの姿・その生き様
をモデルにして世界を見つめる時、おのずとそこに警戒
すべきフェイクニュースと聞くべきリアルニュースとの間の
境界線が引かれることだろう。▼ひとつ間違えないように
したい。マルコ 13 章には「人の子が大いなる力と栄光を
帯びて雲に乗って来るのを見る」という言葉がある。これ
は「栄光のメシア」である。しかしイエスの実際の生き様
はそうではない。「力と栄光を帯びた大天使」ではなく、
隣人のために十字架を背負うキリスト(マルコ 8:31)である。
それはまさに二代目イザヤが晩年にやっとたどり着いた
「苦難の僕」の姿そのものである。▼きらびやかで楽しい
で、多くのモラルに溢れたクリスマスがあちこちに現れる季
節。人間の飽くなき欲望は真実を見ることを忘れさせよう
とする。しかしそれはクリスマスのまことの喜びではない。
飼い葉おけの貧しさの中に生まれ、弱く小さき者と共に
歩み、十字架の死に至る道を歩み続けられたイエスの生
涯にこそ、真実のよきこびがあるのだ。